

指扇小だより

教育目標 **やり抜く子の育成**

かしこく やさしく たくましく あたたく

3月号 令和6年2月29日 第11号

さいたま市立指扇小学校

〒331-0078

さいたま市西区西大宮1丁目49-6

電話 048-623-0133 FAX048-624-2200

【児童数】男子444名 女子429名 計873名

やり抜いた1年間 ～指っこの成長～

校長 引間 陽子

子ども時代の記憶・・・懐かしいなと思います。私は小学生時代の話を担任時代に学級で幾度となく語ったものです。学級の子らが意外と食い入るように聞いてくれました。例えば、毎日、ゴム段、ローラースケート、ドロ警三昧の話では「友達とたくさん遊んで、心底楽しかったあ。」という笑顔。小3のお楽しみ会で親友とコンビを組んでお笑いをやった話は意外だと感心する。小5の夏に家族や知人と登った富士山。落石、あわや滑落の珍道中で「やっとの思いで登頂。感激した!!」と夢中で話す熱い話に大爆笑。小6の秋に中学校吹奏楽部の迫力満点の演奏を鑑賞し、「憧れたあ。」と進学先への希望を抱いた経験話に頷く。私のピュアな思い出は、半ば自慢話に聞こえそうですが、その時、担任した子らが耳を傾け共感してくれました。

さて、令和5年度もまもなく1年間が経ちます。本校が掲げた目指す学校像は、以下の通りでした。

「教育は人なり」をモットーに、教育目標「やり抜く子の育成」の実現のため、チーム指扇小が一丸となり、学びの改革を推進する。①笑顔輝く子 ②力を磨き合う教職員 ③考え、対話する組織を柱とする学校づくりを進め、笑顔の花咲く指扇コミュニティ・スクールを拡充する。

振り返ると、コロナ5類移行後の学校では、改めて子どもたちが生き生きと学び、のびのびと活動した姿が素晴らしいと感じます。私は日々子どもたちと会ったり対話したり授業を参観したりと学校の様々な場面に接すると、思わず「ありがとう」「すごいね」「すばらしい」「おもしろい」「感動」といったポジティブな発言が出てきます。「指っこ、いいね」「指っこ、がんばったね」と大きな声で称賛したい気持ちになります。この1年も「明るい挨拶ができること」「授業に集中していること」「外で元気よく遊ぶこと」「発表や挨拶等で自分の言葉で表現できること」が指っこの自慢できるところだと感じました。

また、本校の取組の目玉の一つに「GRIT」目標を各自が立てて「なりたい自分」になるというものがあります。1年間通して取り組んできましたが、子どもたちは何が達成できたのでしょうか。子どもたち自身ができるようになったことを見つけられ、その価値に気付けるようにしたいと考えます。「GRIT」で自分と向き合い、自分のよさに気付けると、その結果、自信をつけ、自己肯定感を高めていけるからです。子どもたちの成長ややり抜けた結果は、その場だけで成し得たことではありません。子どもたち自身も影の努力、苦労、頑張りに気付き、胸を張って進学・進級につなげてほしいと思います。

最後になりますが、去る1月30日の学校運営協議会において委員の皆様には本校の学校経営ビジョンについて評価をいただき、『令和5年度学校自己評価システムシート』が完成しました。よりよい指扇小を目指し、成果や次年度への課題と改善策等を受けて、委員の皆様には意見・要望・評価等をいただきまとめたものです。3月の中旬に、本校のホームページにアップいたします。御覧ください。この1年間の保護者の皆様、地域の皆様の御協力、御支援等、感謝いたします。誠にありがとうございました。



毎年5月1日は「さいたま市民の日」、市立学校はお休みです。

市民のみなさんが、郷土である本市の文化に親しみ、市民としての一体感とまちづくりに自ら参画する意識を高め、魅力ある本市を将来にわたって作っていくことを期する日として、令和3年3月に制定されました。

さいたま市の「ヌウ」

